

# 春日偶成

春日偶成 横山峯雲

鶯花携酒送帰鴻  
香綻柴扉宴未終  
忽覚紅塵歌舞席  
春城迎我嘯清風

春日 偶成 横山峯雲

鶯花酒を携え帰鴻を送る  
香綻び柴扉宴未だ終らず  
忽ち覚ゆ紅塵歌舞の席  
春城 我を迎えて清風に嘯く

(詩意)

春の日にたまたま詩を作る。  
うぐいすが啼き、桜の花などが咲く美しい春  
がやってきたので、  
酒などを持ち出して飲み、北の方へ帰る渡り  
鳥の雁を見送った。

# 横山峯雲

花々は咲き始めて、峯雲のボロ屋での一人で  
の春の宴会はなかなか終わらない。  
さて、思ったのは繁華街の賑やかな宴会だ。  
春の街は峯雲を歓迎してくれるだろう、清々  
しい風の中で詩でも嘯こうか。

(注釈)

- ・春日偶成…春の日にたまたま詩を作る。
- ・鶯花…うぐいすと花。美しい春の景色をい  
う。
- ・携酒…酒を持って
- ・送帰鴻…春、北へ帰る雁を見送る。
- ・香綻…花が咲き始める。
- ・柴扉…しばの戸。わびずまい。
- ・宴未終…酒宴はまだ終わらない。
- ・忽覚…にわかに思う。
- ・紅塵…ほこりの多いにぎやかな町。繁華街。
- ・歌舞席…歌や踊りやの賑やかな宴会。
- ・春城…春の街。「城」は中国古代では城郭  
都市のこと。

・迎我…私を迎える。歓迎してくれる。  
 ・嘯清風…清らかな風の中で詩などをうそぶく。

(平仄)

七言絶句、平起式、上平一東の韻、○は平韻字、●は仄韻字、◎は押韻、韻脚は「鴻、終、風」。

○ ○ ○ ● ○ ◎ (韻)

○ ● ○ ○ ● ◎ (韻)

● ● ○ ○ ● ●

○ ○ ○ ● ○ ◎ (韻)

(挨拶)

年が明けて、新春となりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。峯雲はボロの柴扉で春の独り宴会をしています。

そこで、オミクロン株の増殖中の市井を心配しながら詩作しました。



Photo©T.Yoshizawa